2019

大学共同利用機関

シンポジウム

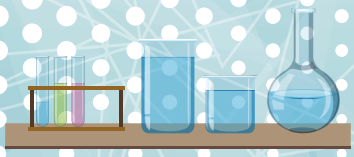
宇宙・物質・エネルギー 生命・情報・人間文化 その謎に挑む

2019/10/20 日

入場無料

※日本科学未来館の常設展・企画展の入場は別途料金が必要です。

11:00〜17:00



会 場

日本科学未来館　7階 東京都江東区青海 2-3-6

[問合せ先]

大学共同利用機関協議会 広報ワーキング事務局

（高エネルギー加速器研究機構内）

〒305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1

TEL. 029-879-6047　E-mail: profiice@kek.jp

主催：大学共同利用機関協議会、大学共同利用機関法人機構長会議

後援：文部科学省

参加機関

●人間文化研究機構（NIHU）　■国立歴史民俗博物館■国文学研究資料館■国立国語研究所■国際日本文化研究センター■総合地球環境学研究所■国立民族学博物館

●自然科学研究機構（NINS）　■国立天文台■核融合科学研究所■基礎生物学研究所■生理学研究所■分子科学研究所

●高エネルギー加速器研究機構（KEK）　■素粒子原子核研究所■物質構造科学研究所■加速器研究施設■共通基盤研究施設

●情報・システム研究機構（ROIS）　■国立極地研究所■国立情報学研究所■統計数理研究所■国立遺伝学研究所

●国立研究開発法人　宇宙航空研究開発機構　■宇宙科学研究所

●国立大学法人　総合研究大学院大学

未来館ホール タイムスケジュール

11:00-11:15　**開会挨拶・来賓挨拶**

11:15-　**研究者トーク**

11:15-12:15　**自然科学研究機構**

・自然科学研究機構とは？
～世界最先端の研究を推進！～
自然科学研究機構　理事・副機構長（広報担当）
竹入 康彦

1. 人類が初めて捉えたブラックホールの姿
国立天文台　水沢 VLBI 観測所　助教　秦 和弘

2. ゲノムから読み解く昆虫の不思議
基礎生物学研究所　教授　重信 秀治

12:20-13:20　**高エネルギー加速器研究機構**

・加速器で探る宇宙・素粒子・物質・生命と未来
高エネルギー加速器研究機構　理事　幅 淳二

3. 史上最高の衝突性能に挑む！
SuperKEKB／Belle II 測定器
高エネルギー加速器研究機構加速器研究施設
准教授　西脇 みちる

4.J-PARC で未来を加速する
－ 宇宙・物質・生命の起源を求めて －
J-PARC センター／センター長　齊藤 直人

13:55-14:55　**人間文化研究機構**

・いま、なぜ人間文化研究か
人間文化研究機構　理事　佐藤 信

5. 研究成果をいかにして
「どこでも」「わかりやすく」「楽しく」見せるか？
国立歴史民俗博物館　副館長　西谷 大

6. リアルタイムMRIイメージングによる新しい音声学
国立国語研究所　コーパス開発センター／センター長　前川 喜久雄

15:00-16:00　**情報・システム研究機構**

・データサイエンスを推進する情報・システム研究機構
情報・システム研究機構・統計数理研究所　理事・所長　椿 広計

7. 観測データでみるグリーンランド氷床の変動
国立極地研究所　国際北極環境研究センター特任教授　青木 輝夫

8. 海から淡水へ！ 魚の淡水進出を支えた鍵遺伝子の発見
国立遺伝学研究所　生態遺伝学研究室　教授　北野 潤

16:05-16:30　**宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所**

・小惑星探査機「はやぶさ2」の最新状況
宇宙飛翔工学研究系助教　はやぶさ２プロジェクトエンジニア　佐伯 孝尚

16:30-16:55　**総合研究大学院大学**

・総合研究大学院大学について／
ゲノム進化の不思議ー遺伝子が増える？減る？
総合研究大学院大学　学長・教授　長谷川 眞理子
総合研究大学院大学先導科学研究科　副研究科長・教授　印南 秀樹

16:55-17:00　**閉会挨拶**

17:00　**研究紹介ブース展示終了**

※日本科学未来館 7階 未来館ホール 定員：固定席244席 当日参加可能

アクセス

日本科学未来館 7階　東京都江東区青海 2-3-6

電車

新交通ゆりかもめ「東京国際クルーズターミナル駅（旧船の科学館駅）」下車、徒歩約 5 分／
「テレコムセンター駅」下車、徒歩約 4 分 東京臨海高速鉄道りんかい線「東京テレポート駅」下車、徒歩約 15 分

混雑が予想されます。公共交通機関をご利用ください

大学共同利用機関とは？

大学共同利用機関は国立大学法人と同じグループの研究機関です。
学術研究の中核的研究拠点として、全国の国立私立大学に所属する研究者のニーズに応え、広く海外の研究者と連携を図りながら、様々な共同研究を推進しています。
個別の大学では整備や維持が困難な大規模施設や設備、膨大な学術資料やデータなどの知的基盤、ネットワーク型共同研究や新分野開拓のための中核的機構と場を全国の研究者へ供し、効果的な共同研究を実施することで、我が国の学術研究の発展に貢献します。